

小岩井自治会会報

もりっこ

第95号

発行 / 小岩井自治会

編集 / 文化部

発行日 / 令和7年9月1日

こいわい駅のまつりだよ

—チャグチャグ馬コも特別参加—



チームファンタジスタの皆さんによる歌やダンスのパフォーマンスに子供たちも大喜び

7月13日(日)小岩井駅の交流スペース及び駅前広場で駅祭りが開かれました。小岩井自治会が主催し滝沢市、小岩井農牧(株)、菊の司酒造(株)等が共催。当日は天気にも恵まれオープンと同時に多くの皆さんが訪れて、ジャズ演奏、ダンス等を楽しみながら冷えたビールやジュースで喉を潤していました。交流スペースでは、賢治の童話読み聞かせのほか、駄菓子やパン、おにぎりなども販売され、子供たちも大喜びでした。

また、地域住民の方の協力によりチャグチャグ馬コが特別参加、祭りに華を添えました。



駄菓子販売も大賑わい



武田市長による賢治童話の読み聞かせも好評でした

小岩井わくわく歩き隊

小岩井地区を 歩く！歩く！歩け！

今年の第 1 回小岩井「わくわく歩き隊」は

6 月 15 日に実施。市職員・県立大生含め、総勢 30 名程が参加。今回のコースは小岩井地域の「小岩井石割桜」「仁沢瀬川の改修工事箇所」。そして、地域の植物。見ているけど見えていない。この人間の偏った見方をみんなで歩くことにより見えてくることがあります。

地域のことを知る絶好の機会。出発前に、環境パートナー会議の皆さんから、特定外来生物「オオハングソウ」「アレチウリ」の駆除について超丁寧な説明を受け地域のどこに生息しているか説明を受け、確認しながら歩きました。

「小岩井石割桜」は地域の中でも一番最後に花を咲かせ、成長も遅いように感じています。

通常のピンクの花びらではなく白い花をつけます。興味ある方はぜひ見ていただきたいと思います。

「仁沢瀬川の改修工事箇所」は、改修工事最初にカワシンジュガイの移殖した後は改修工事河川がどのようになっているのか見ていませんでしたので大きく変わった河川の様子にしばし見とれていました。河川の越水は今後起きることはないと思える改修工事でした。植物など自然観察とともに特定外来生物の生息している場所等を確認しながら歩きました。(最近はやたらとオオハングソウの繁茂しているところが目につきます。)

今回の「わくわく歩き隊」は、県立大の総合政策学部の大学生とともに地域の実態を知りながら健康増進を進めることができました。(県立大生はこの後、最終成果発表会にて「小岩井地域の「継続(おわらない)地図を作ろう！～小岩井駅を地域を照らす灯台のままだに～」と題して政策提案し、参加者の評価が一番良かった提案に選ばれました。)知ることは次への第一歩ですね。

歩け歩こう一日 7000 歩 (事務局 小田島清美氏・記)



仁沢瀬川の改修状況も見学しました。



まずは、出発前に参加者全員でハイ！チーズ

令和 7. 8 年度地域づくり推進委員会役員

役職名	氏名	所属	班
会長	柴田正幸	自治会	6 A
副会長	工藤 誠	ふうりん会	5
理事・事務局長	小田島清美	自治会	18 A
理事・会計	同上	同上	
理事	小川元春	地域住民	26
同	柳橋民治	地域住民	10 A
同	藤本美知子	地域住民	4
同	山火牧夫	ふうりん会	6 C
監事	川原 清	ふうりん会	18 A
監事	金山 明	自治会	16 A

令和 7 年度小岩井地域づくり推進委員会総会

新会長に柴田自治会会長が選ばれる

5 月 25 日（日）、小岩井地区コミュニティセンターで総会が開かれました。議題は①令和 6 年度決算及び事業報告②令和 7 年度予算及び事業計画の承認③役員改正等で賛成多数で可決しました。令和 7.8 年度の役員は次表の通りです。

月サッコラ

チョイワ

ヤッセー 月

第13回小岩井自治会夏まつり

令和 7 年 8 月 9 日、午後 4 時半から小岩井地区コミュニティセンターで、「第 13 回小岩井自治会夏まつり」が開かれました。

当日は、暑い中にも関わらず、武田市長さんはじめ家族連れなど 450 人が参加。オープニングステージで、ふうりん保育園児のダンスや地域の皆さんによる 3B 体操、手品、子ども向けイベントなどが披露されました。クライマックスの輪踊りでは地域有志の躍動感あふれるさんさ太鼓のリズムに合わせ、幼児からお年寄りまで楽しそうに踊っていました。

最後の大抽選会には、協賛各社提供の豪華景品が提供され、大いに盛りあがりました。



子供向けゲームの抽選で会場は大いに盛り上がりしました。



絶妙な手さばきに驚きの声が上がりました。



焼きそばやフランクフルトが飛ぶように売られていました。

ご協力ありがとうございました

今年の夏祭りも、多くの企業、団体様からご協賛、ご支援をいただきました。ここにご芳名をご紹介しますとお礼とさせていただきます。

巧自動車整備工場、小岩井駅前歯科、地熱エンジニアリング(株)、(有)緑の風、小岩井郵便局、道又新聞店、小岩井集落産直組合、(有)小岩井ミルクセンター、(有)細川鉄工、(有)ワコー産業、吉清水建築、安曇野大釜店、NPO岩手総合支援センター学童風の子、美容室Rガーデン、(有)クワン、フレックス、ベルヴェーレの里、焼肉髭、小岩井農牧(株)、三千里

小岩井夏まつり実行委員会



(株)小林精機、らーめん滝村や、サンシャインゴルフパーク盛岡西、ペイントボックス、(有)リフォーム藍、ディサービスひなたぼっこ、諸星運輸(株)、ジャペル(株)盛岡営業所、(有)佐々木住設、(有)ボデーショップササキ、リスハウスプラン、(株)ホクリョウ物流、FMD大坪、(有)ライスガーデン月が丘食堂、(有)カワハラ事務機、菊の司酒造(株)、マルミツ土地、地域サロンポラーノ、ふうりん保育園、姥屋敷自治会長、相談役柳橋民治、相談役小川元春、3B体操、その他匿名の方数人

♪来い来い小岩井ラジオ体操

暑さに負けない体力づくり

7 月 28 日(日)から 5 日間、恒例の早起きラジオ体操が小岩井地区コミュニティセンターで行われました。天候にも恵まれすぎたほど、朝からものすごい暑さの中でしたが、子供も大人も沢山の方々に参加していただきました。日頃の運動不足解消と体力づくりを兼ねて心地よさそうに汗を流していました。最終日には参加者全員にお菓子が配られました。



大人もこどもも元気ハツラツ！ 早朝体操

コミセン・小岩井駅舎をきれいに

— 協力班長さん方中心に清掃活動 —

7 月 6 日(日)、小岩井地区コミュニティセンターと小岩井駅舎の清掃が行われました。毎年 2 回ほど協力班長さんが中心となって行われているもので、この日も担当の班長さんなど多数が参加。日頃お世話になっているコミセンや小岩井駅の窓がラスを入念に磨いたり、床をモップで拭いたりしてきれいにしていました。



玄関の靴箱などもきれいになりました



床もピカピカに

自治会道路一斉清掃

道路や公園の除草に汗を流す

6 月 22 日(日)、恒例の小岩井自治会道路一斉清掃が行われました。

朝 7 時、地域の皆さんが草刈り鎌や清掃用具を、それぞれ決められた場所に持参し、1 時間ほどかけて伸び放題になっていた空き地の道路際や児童公園などの雑草を刈り取っていました。

ご近所にいながら、顔を合わせる機会のない皆さんのコミュニケーションの場ともなっています。



第 38 回滝沢市民体育祭前期競技

グラウンドゴルフとファミリーバレーボール

グラウンドゴルフは原則として週二回、大釜中央公園や小岩井野球場で楽しく活動しています



第 38 回滝沢市民体育祭の前期競技が 6 月 8 日(日)に開かれました。競技は、グラウンドゴルフ、ファミリーバレーボールの 2 種目。小岩井自治会は、惜しくもグラウンドゴルフ A チームが 5 位、B チームが 20 位、バレーボール A チームが 8 位、B チームが 4 位に終わりました。

中期競技は、スローピッチソフトボール、駅伝が 9 月 21 日(日)に開催の予定です。みんなで応援しましょう。



ふうりん寺子屋

夏の思い出になればと工作教室

7 月25 日(金)小岩井地区コミュニティセンターで、子供会行事・ふうりん寺子屋が開催されました。

一学期終了後、子供たちは翌日から始まる夏休みへのわくわく感いっぱい会場へ集まりました。みんなでお昼ご飯を食べ、スライム作りと割りばし鉄砲づくりを行いました。

育成会寺子屋係の指導の下、友達同士でも教え合い色とりどりのスライムが完成しました。割りばし鉄砲は、苦戦しながらも見事に完成させ、あちこちで輪ゴムを飛ばして楽しんでいました。子どもの参加人数は59 人と予想を上回るほど大盛況に終わりました。夏休み前日でしたが子供たちの夏の思い出のひとつになってくれたらよいな～と思います。

(育成会・記)



沢山の子どもたちが参加。夢中になってスライムや割りばし鉄砲づくりに挑戦



ホタル飛び交う街

たくさん
のホタルが
乱舞
— 仁沢瀬川(旧越前堰) —

美しい日本の風景いつまでも

今年も小岩井地域住民の口々に蛍の話題がありました。仁沢瀬川にはゲンジボタルが生息し、6月下旬から7月上旬にかけて人魂とも思えるほど大きな光を発しながら乱舞しています。今年もたくさん乱舞していました。一度はぜひ見ていただき

たいと思います。田んぼにはヘイケボタルも舞っています。自然と一体になれる心豊かになれる時間です。(とは言いながら最近はクマ出没により、なかなか夕涼みや、星空観察など夜に安心して出かけられなくなっています。残念です。)

(小岩井地域づくり推進委員会)



【こいおい地域この人コーナー】



出で立つのも帰るのも

10 班 B 潮 純子さん



故大欠淳子さんに見送られ、この地を発ったのが 20 年前でした。牧師の夫と共に栃木・埼玉・宮城の教会を巡って昨年 3 月に戻って参りました。「故郷の山に向かいていふことなし」です。その間、毎年数回小岩井に帰る度に雄大な岩手山と美しい星空、美味しい野菜たち、草花の香りを運んでくれる風、地域の方々との繋がりに身も心も癒されておりました。

最初の赴任地、栃木の西那須野（現那須塩原市）ではアジアの農業指導者を育成するアジア学院との縁から、インド・アフリカ・東南アジアの方々とお交わりがありました。我家で和食を提供することも多く、ある時アフリカからのお客様に冷やっこをお出ししたところ、「山羊の脳みそみたいだ」と食して貰えなかったことも…。ところ変われば何とやら、文化の違いに驚いたこともありました。食は身近なコミュニケーションツール、ここで意外にも旧婦人会で教えて頂いた「がんづき」が役に立ちました。クリスマスやイースターの食事会でがんづきが大好評だったのです。特にインドの女性たちは大好きで、毎回作る度にあっという間に無くなるのでした。三つ目の赴任地仙台でのバザーでも好評で、毎年リピーターが教会内外から買い求めに来るほどでした。小岩井のお陰です。実は食だけでなく、ここ小岩井の地で学んだこと、していたことが他の地で全て役に立っていたのでした。精神保健ボランティアをしていたこともあり、西那須野では、教育相談員として不登校の子供たちに関わり、我家で DV 家庭の子供たちをお預かりしたこともありました。

2011 年、埼玉のマンションの 8 階で震災を経験、その頃故郷岩手では大変な事が起きていました。かつて旧滝沢村から派遣された男女共同参画社会沖縄研修で寝起きを共にした同じ班の沿岸部の仲間を津波で失いました。中でも当時、県地域婦人団体連絡協議会の副会長だった M さんとは帰りの船の中で親しくお交わりを頂いていました。知らせを聞いた時は半狂乱になりそうでした。その後、ミッション系大学の臨床心理学科に社会人入学し、トラウマを抱えた人たちの一助になればと学びを深めました。

宮城仙台では、東北一大きな教会でした。10 年間に延べ 1 万人の復興支援ボランティアに宿泊を提供していましたから、自らもボランティアさんの食事作りや、石巻の仮設住宅でボランティア活動を体験しました。赴任した当初は被災した方々の話を聴き過ぎて、急性ストレス障害になるほど被災の影響は深刻でした。14 年経った現在でも、3・11 が近くと体調を崩す方もおられます。

小岩井に帰る 3 ヶ月前に左足を骨折し、入院・手術・リハビリのため引っ越しは夫と娘に全てお任せで帰って来ました。この地で留守を守ってくれた母もこの 4 月に天国へ旅立ちました。現在はリハビリに専念しております。数は少なくなりましたが、蛍が飛び交うこの地で穏やかに余生を過ごしたいと願っています。

盛岡出身 趣味：パンとお菓子作り イタリア語

水よく、風よく、情けよく 牧歌的な情緒の残るまち小岩井！！

お悔やみ

小岩井自治会地区担当理事（現職）として、長い間ご貢献いただいております **不来方光弘さん**（17 班 A）が令和 7 年 7 月 20 日に急逝されましたここに生前のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します
小岩井自治会

【編集後記】

◇比較的のぎやすい気候に恵まれていた小岩井地区も、連日 30 度を超す猛暑？にうんざり。雨量も少なく農作物等への影響が心配されます。コメ不足にならないよう祈っています。
◇このような暑い中、駅祭りや夏祭り、その他イベントなどが盛況です。これも開催準備や運営に汗を流している役員、ボランティア、そして地域の皆さんのご協力があればこそ。いつも感謝しながら取材させていただいています。

編集スタッフ